

令和3年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

令和3年度は、理事、監事、評議員等、多くの任期満了に伴う改選の年でありましたが、新会長のもと新たな体制で、新型コロナウイルス感染防止対策をしながら、第4次地域福祉活動計画の基本理念である「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現を目指し、役職員が一丸となり地域福祉の推進に努めてきました。

2年目を迎えた第4次地域福祉活動計画の進捗については、評価に向けた勉強会を開催し、評価方法や評価の視点について職員と委員の共有を図りました。評価委員会は3回開催し、事業の内容などについて活発なご意見を委員の皆様から頂き検証いたしました。評価委員のご意見と職員自身の振り返りを1冊にまとめましたので、この評価をもとに令和4年度は、地域の現状を視野に入れ支援に向け取り組んでいきます。

法人運営事業では、今後の南アルプス市社会福祉協議会の財政基盤強化に向けた経営・組織体制について、令和4年度から検討していく「経営検討委員会」の作業部会として、ワーキンググループを設置し、社協が抱える様々な課題をまとめました。

社会福祉法人等との連携の強化を目指した地域連絡会は、全体での集まりはコロナ禍の影響により開催できませんでしたが、地域貢献にもつながる取り組みの一つとして、「1法人1防災士」を目指し、市危機管理課の協力も得ながら令和3年度は4法人において防災士が誕生しました。

社会福祉大会は、開催の方向で直前まで準備をしてきましたが、新年早々の新型コロナウイルス感染拡大の影響から、やむなく中止の決断をしました。

財務、職場環境、防災、接遇など全職員を対象にした全体研修と、専門的知識を高めるための研修を重ね職員の質の向上に努めました。

地域福祉事業では、「コロナを言い訳にしない」を合言葉に感染拡大防止に充分留意しながら生活支援体制整備事業(協議体)、防災事業、ボランティア支援、育成など、住民主体の地域づくりにできる限り取り組みました。コロナ感染防止のための様々な事業の中止は、これまで築いてきた密接な人間関係、地域の関係を希薄にしてしまい、困りごとが伝わりづらい現象が起きていますので、積極的に地域支援体制の強化に取り組んできました。

また、新型コロナウイルス感染の影響により、経済的な理由で日常生活を送ることが困難になった世帯に対しては、生活福祉資金特例貸付の相談受付を行いました。貸付の対応だけでなく日常的な支援が必要な世帯に対しては、ふくし相談支援センターが貸付後の生活状況を確認するなど対応を続けています。

成年後見センター事業では、市民後見人の養成に向け、市民後見人養成講座を開催しました。令和2年度に受講した16名については、日常生活自立支援事業の支援員として実践を重ねました。今年度は、新たに2名の市民後見人が誕

生し活動を始めております。また、成年後見制度についての理解を深めるため、協議体などへの出張講座や相談窓口の継続などにも取り組んできました。

3年目を迎えた北部地域包括支援センターは、白根げんき館を拠点に地域住民の身近な相談場所として定着し始め、多くの住民の方々に利用されてきました。社協が行う事業や活動、協議体と連携を図りながら、個別課題から地域課題へと展開できるよう業務に取り組んできました。これまでの3年間のノウハウを活かし、社協の強みである地域住民や各関係機関との連携を更に強化し、誰もが住み慣れた地域で自分らしく生活できるよう、令和4年度から5年間の受託契約を市と締結しました。

介護、障害福祉サービス事業は、感染拡大防止を十分行いながら、社協の理念をふまえた質の高い支援を行いました。居宅介護支援事業は、困難ケース、インフォーマルな支援にも継続的に力を注いできました。また、今後の支援内容や職員体制の充実を図るために、新たに1名の職員が主任介護支援専門員の資格を取得しております。

訪問介護事業は、個々の課題や地域の課題の解決に向けた取り組みを目指して、在宅を支えるためのサービスの向上を図り特定事業所の指定を受けました。

デイサービスゆうかり、デイサービスセンターわかくさ、しゃきよんの家下町の各デイサービスは、コロナ禍のなか、職員一人ひとりが感染対策に気を配り、利用者が安心して通えるデイサービスとして、それぞれの特色を生かした在宅生活の支援や、地域貢献となる支援を積極的に行ってきました。市内の居宅介護支援事業所を訪問し更なる連携の強化も図りました。

I 法人運営事業

1 法人運営事業

法人運営の基盤整備を進め、経営体制の強化を図りました。

- ① 正副会長会議の開催（8月～3月）
 会長、副会長、局長、相談役、課長、所長による全体会議
 （理事会、評議員会の対応含） 8回

- ② 理事会・評議員会の開催

理事会	第1回	令和2年度事業報告、決算他	5月28日
	第2回	会長、副会長の選任について他	6月15日
	第3回	資金収支第二次補正予算について他	6月28日
	第4回	資金収支第三次補正予算について他	12月9日
	第5回	資金収支第四次補正予算について他	3月10日
評議員会	第1回	令和2年度事業報告、決算他	6月15日
	第2回	資金収支第二次補正予算について他	7月8日
	第3回	資金収支第三次補正予算について他	12月20日
	第4回	資金収支第四次補正予算について他	3月18日

- ③ 評議員選任・解任委員会の開催
 第1回 評議員の選任・解任 6月4日
- ④ 監事による監査
 令和2年度定期監査 5月18日
- ⑤ 庁内会議（4月～7月）
 会長、副会長、局長、相談役、課長、所長による全体会議
 （8月より正副会長会議に要綱変更） 5回
- ⑥ チーム制による会議
 ・地域福祉活動計画評価推進チーム 9回
 ・社協発展強化計画推進チーム 21回
- ⑦ 労務人事管理
 社会保険労務士への相談 3回
- ⑧ 法人会計
 会計事務所による月締め状況、年度決算の監査 13回
- ⑨ 衛生委員会開催（ストレスチェック含む）
 衛生委員会開催 4回
 ストレスチェック実施（1回）12月実施
- ⑩ 市議会議員への説明会
 社協事業、予算の説明 コロナ禍の為実施せず
- ⑪ 視察研修実施・受入れ
 京都市久世包括支援センター職員視察受け入れ（地域福祉課）
 11月16日・17日
- ⑫ 社会福祉法人等との連携のための地域連絡会
 正副委員長会議 5月12日・8月17日

- ⑬ 経営検討委員会の開催
ワーキンググループ会議 11月22日・令和4年2月14日
- ⑭ 役員の選任検討委員会の開催
開催無し

2 苦情解決体制

社協が行う事業に係る市民や利用者等からの苦情を解決するための体制を整え、対応しました。

- 苦情解決責任者 事務局長
- 苦情受付担当 各事業所の管理者
- 第三者委員 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を図るため3名の委員を委嘱

苦情解決第三者委員会 5月6日
(令和3年度苦情・事故・ヒヤリハット報告)

苦情	事故（車両事故含む）	ヒヤリハット	合計
9	36	3	48

令和3年度 苦情一覧(概要)

担当課	内容	対応・解決結果等
訪問介護課	職員が利用者宅を訪問した際、「車を私有地に無断で駐車し、何度も注意しているのに繰り返している」との苦情。	謝罪後、直ぐに車を移動。事業所内で共有し。関わっている複数の事業所にも再度周知。利用者ごとに駐車場所などの注意事項はケースファイルの表紙に記入し、職員間の引継ぎ可能とする。
訪問介護課	「家族が作り置きしたおかずを母（利用者）の食事時間に合わせヘルパー訪問時に配膳する支援だが、ヘルパーの記録に調理と記載はおかしい。サービス提供責任者が変更になったとのことだがまだ会えていない」との苦情。	支援内容、実績記録の記入方法に不備があったことを利用者家族に謝罪。ケアマネとサービス提供責任者で利用者宅を訪問し担当変更の挨拶と今後の支援内容等について話し合い、直接利用者家族の要望を確認。課内で支援内容と記録内容について共有。
成年後見センター	センターで保佐人をしているAさんが体調を崩しているのを、近所で見守り支援をしているBさんが発見。成年後見センターの携帯に連絡したが通じず。その後、救急車等の手配をしたが、成年後見センターとしての支援のルールをはっきりと決めてもらいたいとの意向が聞かれた。	謝罪後、今後も地域の支援者として協力を続けてもらえることになった。常に連絡が受けられる体制を心がけ、着信があった場合はすぐに折り返すことを課内で共有。
居宅支援課	「住宅工事等の費用の提示、支払いにケアマネジャーに不信感を抱いた。ほかにも言動や態度に不満がある。担当ケアマネジャーを変えてほしい」という苦情。	利用者の依頼にて物置やエアコンの工事を業者に依頼し、費用支払いまでを支援した経過があった。ケアマネジャーと業者が行うことを区別する必要があった。説明不足を謝罪。担当職員には、あらためて接遇について指導し、利用者に寄り添い信頼関係を築けるように努めることを再確認した。

総務課	「病院薬局の駐車場で社協の車椅子車輛が止まったため待機していた。利用者対応を終了後、すれ違い時に会釈もなく「すみませんでした」の一言もなく去った。不快な思いをしたと本所に連絡があった。	担当所属長より申出人に電話で「担当者は支援に集中し、気付かなかったことに申し訳なく思っている。支援中でも周囲にも配慮するよう事業所全体で注意します」と伝え、了解を得る。支援に集中しながらも周囲にも配慮する意識と余裕をもったスケジュールを組んでいくことを事業所内で共有。
北部包括支援センター	利用者A（ろう者）よりA医院、B病院、C病院へ職員Bの受診同行時の言動により、これ以上信頼関係が構築できないため担当交代をしてほしい。（手話通訳者が代筆した文章にて北部包括支援センターに届く）	手話通訳者に電話し内容の再確認と利用者への謝罪と担当職員等についての面接の調整を依頼。市役所にて面接。包括職員Cと職員D、利用者（本人）、夫と面接。手話通訳者、自立支援担当が同席。手話通訳を通し謝罪し、ご意見をいただいたことに感謝を申し上げ、担当職員の交代に職員Dを紹介。同意をいただく。職員Nに苦情発生状況を伝え、支援状況を確認。相談者を理解することやアセスメントを深めること、ろう者との面接方法の学習などを改善すること指示。センター内でも対応の振り返りや、ろう者への支援について共有。
居宅支援課	サービス担当者会議を開催した利用者の家族より「今日の話し合いの内容また介護保険についての説明が不十分。話をきちんと聞いてくれるケアマネジャーに変更したい。」と会議終了後に市地域包括支援センターに苦情があった。	市地域包括支援センターが家族と話をした結果、別の居宅支援事業所のケアマネに引き継ぐこととなった。係長より家族に電話にて謝罪と詳細を伺う。介護保険サービスの手続きや利用についての説明の伝え方が不十分であったことが原因。利用者や家族への配慮と説明を十分に行い、理解されたかどうかの確認をしながら丁寧な対応をすることを担当に指導。
地域福祉課	御家族より父がげんき会会合の際、松聲堂の机を自分の足の上に落としけがをした。保険対応して欲しい。出来なければ通報する。	電話にて老人クラブの組織体制、保険について説明し、地区単位のクラブ毎に任意で加入する保険はあるが、該当のクラブは保険未加入であり、今後、今まで以上に保険加入を促すことを伝える。市介護福祉課へ経過報告。
デイサービスセンターわかき	利用者Aが自分の書初めが壁になかった為、職員に確認。乾く前に重ねたことにより汚れてしまったため破棄したと説明し謝罪する。本人の了承もなく捨てるようなことはやめてほしい。対応に気をつけてほしいとの訴え。	所長へ報告。利用者Aへ再度謝罪し納得して頂く。作品の扱いには十分注意すること、本人の了承を得てから処分すること、利用者からの相談・苦情は、その場にて上司に報告・相談することを注意し、事業内でも共有した。

3 会員の確保

自主性を持った社協活動の拡充、地域福祉活動のより一層の充実を図るため、一般会員や賛助会員への加入を促進しました。自主財源の確保に努めるとともに、事業運営の一層の効率化や経費削減に努めました。

- ① 一般会員（南アルプス市民、市内の社会福祉事業を経営する企業・団体等、市内の福祉活動を行う団体等）の加入及び協力促進
- ② 賛助会員（社協の趣旨に賛同する個人・法人・企業・団体等）の加入促進

一般会費（自治会）

地 区	実世帯（戸）	自治会加入世帯	会 員 戸 数	金 額（円）
八 田	2,872	1,914	1,672	1,672,000

白根	7,813	5,570	4,741	4,763,000
芦安	127	127	103	103,000
若草	5,093	3,034	2,452	2,452,000
櫛形	7,422	5,798	4,650	4,648,000
甲西	5,066	3,504	3,051	3,051,000
合計	28,393	19,947	16,669	16,689,000

一般会費（社会福祉事業を行う個人、団体から）納入状況

区分	会員数	金額（円）
個人	81人	174,000
団体	20団体	156,000
合計		330,000

賛助会費納入状況

区分	会員数	口数	金額（円）
個人	0人	0口	0
団体	29団体	35口	167,000
合計			167,000

4 広報活動

地域の社会福祉活動や社協の事業を深く理解してもらうために必要な情報を広く住民に伝え、福祉の啓発を図りました。

- ① ボランティア情報誌の発行
毎月1日発行 配布数（1回につき）19,650部
- ② 社協だよりの発行
年2回（7月18日・2月20日）
配布数（1回につき）20,000部
- ③ ホームページによる情報発信（R04.03.31現在）
アクセス数 6,350
- ④ フェイスブックによる情報発信（R04.03.31現在）
掲載記事 155 いいね数 2,603
- ⑤ マスコットキャラクターしゃきよんの活用
 - ・社協だより vol.36 夏期号5月取材時着ぐるみ活用
 - ・社協だより vol.37 冬期号1月取材時着ぐるみ活用
 - ・他、車両ステッカー、広報、事業等日常業務にて活用
 - ・しゃきよんイラストパターン20種類追加作成

5 役職員研修の実施

※役員研修については新型コロナウイルスの影響により開催無し

6 施設の管理

管理者として適切な管理運営とサービスの向上に努めました。

- ① 白根げんき館管理運営（指定管理）
- ② 甲西保健福祉センター管理運営（指定管理）
- ③ 旧若草健康センター管理運営

施設名	利用人数（通所E除く）
① 白根げんき館（指定管理）	1,977名
② 甲西保健福祉センター（指定管理）	3,280名
③ 旧若草健康センター	1,885名

7 社協発展強化計画の策定

令和4年度以降の策定に向け取り組みました。

発展強化チーム会議	4月～3月31日まで 21回
-----------	----------------

II 地域福祉推進事業

「わたしがつくる みんなでつくる 住民自立のまち」の実現に向けて、地域の誰もが暮らしやすい地域づくりを進めました。

1 地域福祉活動への支援

ボランティア活動や地域福祉活動が活発に行われるよう支援しました。

- ① ボランティア団体助成事業
社協が活動費を助成しているボランティア団体 35団体
内訳（20,000円 34団体 10,000円 1団体）
- ② ボランティア交流会開催
令和3年11月6日（土） 15団体42名参加
- ③ ボランティア相談窓口
延べ 45回
- ④ 当事者の会等の活動
0回
- ⑤ ふれあい・いきいきサロン活動

種別	開催箇所数
高齢者サロン	26団体
子育てサロン	2団体
障害者サロン	2団体
その他サロン（全般）	30団体

研修会の開催 全2回 11月17日、令和4年2月25日

- ⑥ 小地域福祉活動（ふれあい広場）

実施地区	予定自治会数	実施自治会数	備考
白根地区	3か所	3か所	

楡形地区	5か所	5か所	
------	-----	-----	--

⑦ 地域交流拠点「しゃきよんの家下町」

来場者数

種別	延人数(団体数)	備考
視察団体	0団体	0名
昼食提供者	1名	年間延べ16食(囲碁クラブ)
来所者数	104名	
学生実習受け入れ	0名	

拠点貸出

内容	貸出回数	備考
囲碁クラブ	16回	延べ58名参加

学習会・体験・講演会(イベント) デイ利用者含まず

事業名	開催回数	延参加人数	備考
映画鑑賞	10回	1人	
ゆる体操・体操教室 等	6回	3人	
音楽関係講座	14回	9人	
教養講座	5回	2人	

地域との連携

会議名	開催日	参加者数	備考
運営推進会議	10月、3月	4名	感染症対策として3月文書開催

⑧ 生活支援体制整備協議体(第2層・第3層への支援)

生活支援体制整備協議体開催

地区	開催日
八田	4月30日、5月27日、6月25日、7月30日、10月22日、11月18日、12月16日
白根東	5月26日、7月28日、9月29日、11月29日、1月26日、3月30日
白根源	4月21日、7月13日、9月23日、10月19日、12月14日、2月15日
白根百田	5月25日、7月8日、12月15日
白根飯野	4月19日、5月21日、6月29日、7月29日、10月18日、12月3日、3月25日
白根飯丘	4月14日、5月26日、6月9日、7月28日、9月22日、10月13日、11月10日、12月8日、1月26日、2月9日、3月9日
若草北	4月22日、6月24日、9月16日
若草南	4月20日、5月20日、6月17日、9月16日
楡形西	4月14日、7月21日、9月22日、11月24日、2月22日

楡形北	4月27日、6月1日、6月29日、9月24日、10月27日、11月30日、12月27日、1月28日、2月25日
楡形小笠原	10月13日、3月17日
楡形豊	4月22日、7月22日、10月28日、12月9日、3月24日
芦安	4月28日、5月20日、7月29日、11月22日、12月15日、1月13日
甲西大明	4月16日、5月14日、6月17日、7月15日、9月24日、10月22日、11月18日、12月16日、1月20日、3月10日
甲西南湖	6月9日、9月16日、11月24日、2月24日
甲西落合	4月23日、5月24日、6月28日、7月28日、8月30日、9月27日、10月27日、11月29日、12月21日、1月24日、2月21日、3月28日

生活支援コーディネーター発信 ゆるつな物語 Facebook 発信 11回
7月6日 第2層協議体代表・副代表者意見交換会 50名参加
8月 協議体参加者420名へメッセージ送付
商工会アルピー通信7回掲載
9月1日、2日生きがい・助け合いサミット in 神奈川 職員SC発表
9月7日令和3年度生活支援コーディネーター養成スキルアップ研修会
事例発表
9月30日令和3年度生活支援コーディネーター養成研修に参加
10月14日県地域支えあい推進セミナー 事例発表
11月1日さわやか福祉財団全国交流フォーラムに参加
11月2日福井県令和3年度生活支援コーディネーター養成研修にて事例発表
11月16日・17日京都市久世包括支援センター職員視察受け入れ
12月17日社協主催 支えあいディスカッション2021 ～専門職と協議体との合同研修会～ 109名参加
1月16日市介護福祉課主催地域支えあい実感フォーラムに協力
1月20日南アルプス市倫理法人会経営者モーニングセミナーにて実践発表
2月17日令和3年度社協活動実践研修会に参加
2月28日社協主催 協議体スキルアップ研修会 48名参加
山梨県生活支援アドバイザー派遣事業協力
・6月11日富士川町 ・6月11日市川三郷町
・6月17日韮崎市 ・6月22日市川三郷町
・7月12日笛吹市 ・12月1日笛吹市
・2月21日市川三郷町 ・3月17日甲斐市

⑨ 自治会が行う買い物支援における車輛貸出事業

貸出回数	3回	加賀美区自治会
------	----	---------

⑩ 福祉バスの運行

	運行回数 (温泉)	乗車人数 (温泉)
楡形福祉バス	63 (44)	370 (135)

若草福祉バス	138 (128)	195 (49)
計	201 (172)	565 (184)

2 高齢者の生きがいづくりへの支援

高齢者が生きがいを持っていきいきと過ごせるよう支援しました。

① 介護支援ボランティア・ポイント制度事業

登録者数	169名	延べ活動回数	625回
活動受入施設	48所	内在宅活動回数	248回
ポイント活用申請者数	27名	合計ポイント数	795p
養成研修等開催日・参加者数	12月6日/3月16日 養成研修(10名)・フォローアップ研修(18名)		

② 通所型サービスE事業 (介護認定を受けていない65歳以上の方)

地区	実人数	回数	延べ人数	備考
八田	14	96	583	1カ所
白根	31	141	1033	1カ所
芦安	5	46	157	1カ所
若草	22	180	808	4カ所
甲西	24	142	933	1カ所
計	96	605	3,514	8カ所

3 在宅福祉活動の推進

住み慣れた自宅での生活が安心して送れるよう支援しました。

① ふくし生活支援サービス事業

サポーター数	73名
--------	-----

② おやつサービス事業

実施回数	70回
------	-----

③ 食の自立支援事業

実人数	80名	延べ配食数	14,109食
-----	-----	-------	---------

④ 通院サービス事業 (本所・芦安)

	登録者数	延べ利用者数
本所通院サービス	53名	447名
芦安通院サービス	16名	164名

⑤ 車いす・福祉車輛の貸し出し事業

車椅子	42台	福祉車輛	延べ 182回
-----	-----	------	---------

⑥ 介護保険外ホームヘルプサービス

実施回数	59回
------	-----

⑦ 制度外入浴サービス事業

実施回数	1回
------	----

4 福祉の意識啓発

子供から高齢者までそれぞれの状況に合わせて、福祉への関心が高まるよう啓発を行いました。

① 社会福祉大会の開催

※新型コロナウイルスの影響により中止

② ボランティアスクール開催

実施回数	1回	参加者数	3名
------	----	------	----

③ ふくしポスター募集

応募数 894点

審査結果 最優秀賞 1点 優秀賞 3点 佳作 8点

④ 学校でのふくし教育

8校	延べ参加児童・生徒数	480名
----	------------	------

⑤ ふくし勉強会

ふくし勉強会	2回	延べ参加者数	75名
R3.10.5 聴覚障害、「聞こえない」とは？			16名参加
R3.11～R4.2月 ひきこもりから見えるもの（通信講座）			59名参加
出張ふくし勉強会	1回	参加者数	16名

⑥ 企業向けの研修会

実施回数	1回	参加者数	43名
------	----	------	-----

⑦ 専門職向け研修

実施回数	1回	参加者数	30名
------	----	------	-----

⑧ 成年後見制度等啓発セミナー

実施回数	2回	延べ参加者数	34名
------	----	--------	-----

5 防災・減災啓発活動

防災をキーワードに地域づくりを進めるとともに、災害支援活動を行いました。

① 災害ボランティアセンター設置運営訓練

実施回数	1回	参加者数	18名
------	----	------	-----

② 福祉避難所開設訓練

コロナ禍のため実施無し

③ 防災地域出前講座（自治会、各種団体、サロン等）

実施回数	10回	延べ参加者数	188名
------	-----	--------	------

④ 防災福祉教育

実施無し

⑤ 企業応援

実施回数	1回	参加者数	11企業掲載
------	----	------	--------

⑥ 被災地への職員・ボランティアの派遣

要請なし

⑦ 防災学習会

実施回数	1回	参加者数	30名
------	----	------	-----

⑧ 被災地支援ボランティアバスの運行
要請なし

6 相談支援

1) 生活課題への相談支援

生活上の様々な相談にのり、解決に向け支援を行いました。

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業

相談件数延べ 12,497件 実人数 746名

相談支援方法	延件数	連携機関	延件数
自宅訪問	875	本人	4,647
来所相談	753	同居家族	407
同行支援	150	別居家族	305
電話相談(連絡調整)	3,622	地域住民・知人	404
電子メール	221	民生委員	654
個別支援会議	149	店・企業	248
関係機関との連絡調整	6,624	医療機関	284
その他	103	警察・保健所	73
合計	12,497	地域包括支援センター	161
		北部地域包括支援センター	620
		市 介護福祉課	19
年代別相談支援者数	実人数	市 家庭児童相談室	187
15歳未満	4	市 健康増進課	170
15～29歳	70	市 福祉総合相談課(生保)	179
30～39歳	108	市 福祉総合相談課	989
40～49歳	131	その他市役所各部署	109
50～59歳	151	障害者相談支援センター	302
60～64歳	50	障害者計画相談	243
65歳以上	226	社会福祉協議会	2,082
年齢不明	6	ケアマネジャー	301
合計	746	その他	113
		合計	12,497

② 出張ふくし相談会

月2回(第1、第3水曜日)開催 相談来所者数 19名

開催場所 22回開催

5/12 楡形社会福祉会館(0名)、5/26 甲西保健福祉センター(1名)

6/2 六科集落センター(0名)、6/16 白根生涯学習センター(0名)

7/14 芦安窓口SC(1名)、7/28 藤田ふれあいセンター(0名)

8/4 ウェルシア南アルプス小笠原店(1名)、8/18 鮎沢公会堂(1名)、

9/8 徳永集落センター(3名)、9/21JA 南アルプス市在家塚支所(5名)
 10/13 六科集落センター(1名)、10/28 寺部公民館(1名)
 11/10 櫛形北改善センター(0名)、11/24 東南湖公民館(1名)
 12/8 上高砂集落センター(0名)、12/22 白根桃源図書館(0名)
 1/12 芦安支所(0名)、1/26 下今井ふれあいセンター(0名)
 2/9 沢登区公会堂(1名)、2/24 大師区公会堂(0名)
 3/2 野牛島集落センター(1名)、3/16 曲輪田新田営農センター(2名)

③ 生活福祉資金貸付事業・生活福祉資金利子補給事業 (R4. 3. 31 現在)

生活福祉資金（緊急小口資金、総合支援資金）申請状況

緊急小口資金	216 件	38,500,000 円
総合支援資金	215 件	115,100,000 円
延長貸付資金	60 件	33,450,000 円
再貸付資金	183 件	100,950,000 円

生活福祉資金利子補給事業 0 件

居室整備資金利子補給事業 0 件

④ 社会福祉金庫貸付事業

新規貸付	0 件	0 円
令和 3 年度償還者	6 名	68,000 円
償還完了	1 件	
徴収不能処理	0 件	
貸付残額	28 件	1,883,595 円

⑤ ステップワン事業

実施回数（定例）	12 回	延べ参加者数	36 名
実施回数（個別）	14 回	延べ参加者数	15 名

内容：不登校、ひきこもり、精神疾患など社会との関わりをなかなか持つことができない方を対象に、ゲーム、卓球、レジン作りなどを行い、社会とつながりをもつきっかけとしました。

⑥ 困窮者支援事業

準要保護世帯児童（小学 3 年生）を対象とした学用品支援

対象児童数	34 名
-------	------

2) 権利擁護に関する相談支援

自己の権利を表明することが困難な方の権利を護り支援しました。

① 法人後見事業

法人後見関係受任件数推移

新規受任件数	3 件	後見 2 保佐 1 補助 0
終了件数	4 件	後見 3 保佐 0 補助 1
受任件数	16 件	後見 8 保佐 5 補助 3
延べ相談支援回数	1,183 回	担当者会議含む

成年後見センター相談受付状況

新規相談件数	54 件	
延べ相談支援回数	324 回	担当者会議含む

② 成年後見制度相談会開催

相談会開催数 12 回 相談件数 8 件

③ 権利擁護啓発活動

内 容 (対象者)	日 程	場 所・主催者等
市民のための成年後見制度勉強会	10 月 14 日 (木) 10 月 21 日 (木)	若草生涯学習センター・権利擁護センターと合同開催
成年後見制度・日常生活自立支援事業を利用した地域における権利擁護について (計画相談)	11 月 16 日 (火)	社協本所・計画相談連絡会と合同開催
成年後見制度について (西地区第 2 層協議体メンバー)	11 月 24 日 (水)	西地区農村環境改善センター・楡形西地区第 2 層協議体
成年後見制度について (上宮地協議体メンバー)	1 月 14 日 (金)	上宮地風新居公会堂・上宮地協議体 (第 3 層)

④ 日常生活自立支援事業

(福祉サービス利用援助事業・受託事業 (県社協))

新規契約件数	14 件	認知症 4 精神障害 7 その他 3
終了件数	9 件	認知症 3 知的障害 4 精神障害 2
契約件数	72 件	認知症 16 知的障害 24 精神障害 26 その他 6
延べ相談支援回数	6,457 回	担当者会議含む

⑤ 成年後見センター運営委員会

委員会名	日 程	備 考
成年後見センター 運営委員会	7 月 20 日 (火)	R3 年度事業計画、事業経過報告等
	3 月 23 日 (水)	R3 年度事業経過報告、意見交換等

7 地域福祉活動計画の評価推進

第 4 次地域福祉活動計画 (令和 2 年度～令和 6 年度) が着実に遂行できるよう評価を行いました。

第 4 次地域福祉活動計画の評価

	日 程
職員向け勉強会	5 月 11 日、11 月 26 日
評価委員会	第 1 回 7 月 13 日
	第 2 回 10 月 14 日
	第 3 回 3 月 18 日
評価推進チーム会議	4 月 12 日、4 月 27 日、7 月 2 日、7 月 28 日、 8 月 20 日、9 月 15 日、10 月 28 日、2 月 15 日、 3 月 16 日

8 福祉人材の養成及び育成

様々な福祉の分野で活躍できる人材の養成や育成を行いました。

① ボランティア育成支援事業

開催日 回数等	事業名	延べ参加者数
毎月1回(第3水)	男性ボランティア定例会	32名
毎月1回(第2火)	女性ボランティア定例会	21名
毎月1回(第3木)	話し相手ボランティア定例会	42名
ごみ拾い6回 花植え2回 草取り1回	花植えごみ拾いボランティア活動	40名

② 市民後見人等養成事業(市受託事業)

内 容	日 程	備 考
市民後見人養成講座	11月19、26日 12月3、10、17日	修了者のうち市民後見人を 目指す4名が4月からの実 践研修に参加

市民生活支援員 6名 市民後見人 2名

③ 実習生の受入れ

・社会福祉士実務研修

令和3年8月～令和3年9月 1名

・介護福祉士養成学校の介護実習

6月と11月に予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため学校の判断で中止となった。

・介護支援専門員実務研修

令和4年2月7日～10日 3日間 2名

・白根高校インターンシップ

令和3年7月28日～令和3年7月30日 1名

・市内特別支援学校現場実習

令和3年5月31日～令和3年6月1日 1名

Ⅲ 介護保険事業

介護保険制度による介護事業を、高齢者等が要介護状態になっても住み慣れた地域でいきいきと生活が送れるよう良質なサービス提供を目指し運営してきました。コロナ禍であっても利用者の日常生活に必要な支援が滞ることのないように、感染防止対策に努めながら事業を継続し経営を行うことが出来ました。

1 居宅介護支援事業(1事業所)

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の

居宅介護計画（ケアプラン）作成に取り組んできました。特に支援困難な状況や複雑な背景に置かれているケースには、地域の支援者との話し合いや地域資源をケアプランに取り込み、多職種とともに利用者の生活を支えるチーム作りを目指してきました。また主任介護支援専門員を配置し5名の体制で、特定事業所を維持して運営することができました。

新規依頼の相談(年間の実人数) 80件 うち支援開始 54件
カンファレンス・担当者会議 256回

① 介護保険

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要介護1	541	45
要介護2	678	56
要介護3	324	27
要介護4	179	15
要介護5	24	2
合計	1,746	145

中重度者(介護3～5)の割合は全体の30%となっている。

② 介護予防

要介護度	年間利用者数 (月利用者数の年合計)	月平均件数 小数点以下四捨五入
要支援1	24	2
要支援2	80	7
合計	104	9

③ 研修・学習会の講師依頼

上宮地地域支えあい協議体「認知症についての学習会」
令和3年12月10日 3名派遣

2 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA事業(1事業所)

要支援、要介護認定を受けている利用者、または総合事業対象者の居宅にホームヘルパーや支援員が訪問し、地域で自立した生活が続けられるよう身体介護や生活支援などのサービス提供を行いました。令和3年度はよりよいサービス提供を行うための研修計画、事業所内の情報伝達及び報告体制の整備などの取り組みを行い、特定事業所の指定を受けて経営を行うことが出来ました。利用者の生活の一番身近なところで支援を行う介護サービス事業であり、日常の支援の中でキャッチした個々の課題や地域課題については解決に向けて発信し、多様なサービスや地域の資源につなげるように努めました。

① 介護保険事業(訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365 日	1,234 人

内訳	訪問介護	866 人 (月間利用者数の合計)
	総合事業訪問型	118 人 (〃)
	訪問型 A	250 人 (〃)
②	講師派遣・協力	
	無し	

3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業・通所型サービス A 事業 (3 事業所)

令和 3 年度も介護事業が厳しい状況の中、それぞれの特徴を生かしながら社会福祉協議会のデイサービスが目指す利用者一人ひとりに寄り添った介護を大切に、高齢者のみならず誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう幅広いサービスの展開を行いました。また、新型コロナウイルス感染防止対策にも力を入れ運営しました。

災害時に、福祉避難所として運営を行う場合に備えた訓練や地域の交流の場としての施設活用の研修は、新型コロナウイルスの影響により実施できませんでしたが、令和 4 年度は、予定されている訓練を行い、地域住民とも連携を取りながら進めていきます。

デイサービスゆうかりは温泉を利用した入浴サービスを提供し、介護保険利用者以外に、障害者の利用（基準該当障害サービスの生活介護）も実践してきました。例年同様に軽度者が全体の 6 割近くを占めていますが、長期に利用している方も多く、利用年数を経て緩やかに介護度が上がって行く傾向が見られます。ご家族との情報共有をより深め、利用者の心身の状況を常に把握しながら、丁寧な支援に努めてきました。

デイサービスセンターわかくさは、介護度中重度だけでなく軽度者の受け入れも積極的に行い、介護と看護の両面から利用者や家族に寄り添い、あらゆるニーズに対応してきました。また、困難ケースの受け入れも積極的に行ってきました。合わせて基準該当障害サービスの生活介護も実践することで共生ケアにも積極的に対応してきました。その反面入院や施設入所の増加による中重度者の激減が経営に大きな影響を及ぼしました。

デイサービスしゃきよんの家下町は、地域密着通所介護事業所として、利用者の事情に柔軟に対応し、家庭的な雰囲気の中で、サービスを提供しました。今年度は新型コロナウイルスの影響から、様々な交流の自粛などがありましたが、感染予防に努めながら地区の民生委員、ボランティアや体操講師などの協力を得るなか、地域課題である「地域の元気な高齢者の居場所作り」に取り組んできました。

① 利用状況（全利用者）

事業所名	定員	年間開設	1 日平均	延べ利用
------	----	------	-------	------

		日数	利用者数	回数
デイゆうかり	30	310	21.1	6,519
デイわかくさ	30	310	14.7	4,557
しゃきよんの家 下町	10	310	6.3	1,966

(1) 要介護度別利用者数

事業所	要支援1		要支援2		介護1		介護2	
	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数
デイゆうかり	1	6	2.3	188	9	1,141	20.4	2,967
デイわかくさ	0	0	1.9	159	8.5	1,314	8.5	1,315
しゃきよんの家 下町	0	0	3.1	200	3.4	278	4.8	869
合計	1	6	6.3	547	20.9	2,733	33.7	5,151
事業所	介護3		介護4		介護5		合計(延べ利用回数)	
	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数	平均 登録者数	延べ 利用回数		
デイゆうかり	8.8	989	5.8	927	1.1	243	6,461	
デイわかくさ	4.3	687	5.2	465	1.8	339	4,279	
しゃきよんの家 下町	3.1	488	1.1	131	0	0	1,966	
合計	16.2	2,164	12.1	1,523	2.9	582	12,706	

(2) 介護保険外利用者数

デイサービスゆうかり

* 基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 1名 延べ利用回数 101回

デイサービスセンターわかくさ

* 基準該当障害福祉サービス 平均登録者数 2名 延べ利用回数 469回

しゃきよんの家下町

* 要支援1・2の内 総合事業(通所型サービスA) 平均登録者数 1.2人
延べ利用回数

① 年間の主な行事

- ・お花見会
- ・保育園児との交流
- ・夏祭り
- ・おやつづくり
- ・紅葉狩り
- ・クリスマス会
- ・節分会
- ・誕生会
- ・映画鑑賞
- ・地域住民の交流
- ・小学生との交流
- ・敬老会
- ・子育てサークルとの交流会
- ・感謝祭(地域交流)
- ・教養講座

② ボランティア協力状況

事業所	定期的なボランティア数	訪問ボランティア団体数	訪問ボランティア回数
デイゆうかり	延べ 91 人	11	36
デイわかくさ	延べ 261 人	10	13
しゃきょんの家下町	延べ 54 人	3 団体他個人	35

③ 講師派遣・協力

令和 3 年 6 月 優和福祉専門学校 1 年生 見学実習代替講義
「通所介護事業について」(ゆうかり職員派遣)

4 北部地域包括支援センター事業(受託事業)

地域住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援してきました。

① 総合相談支援業務・権利擁護業務(令和 3 年度)

支援実件数 614 件 対応のべ件数 6,033 件

相談者別(延べ件数)		受付分類別(延べ件数)			
本人	1,283	保健・医療	505		
家族・親族	1,345	認知症関係	512		
地域住民・知人	103	精神疾患	135		
民生委員	179	介護保険	2,473		
ケアマネジャー	1,123	住宅改修	53		
サービス事業者	214	福祉用具	39		
医療機関	389	施設入所	50		
市内行政機関等	735	総合事業・介護予防事業	15		
市外行政機関等	29	在宅福祉サービス	68		
南ア市地域包括支援センター	127	障害福祉に関すること	123		
社会福祉協議会	200	介護一般の相談	226		
障害福祉関係機関	63	日常生活相談	530		
障害者相談支援センター	30	情緒的支援	61		
警察	16	家族間の問題	47		
消防	2	近隣との問題	75		
成年後見人	13	生活保護・生活困窮	183		
成年後見センター	30	虐待関係(高齢者)	133		
その他	152	虐待関係(障害者)	0		
空白	0	成年後見制度	142		
合計	6,033	日常生活自立支援事業	23		
相談方法 (延べ件数)	新規	継続	合計	消費者被害	2
電話	61	1172	1,233	DV相談	5
訪問	22	864	886	苦情	4
来所	173	260	433	見守り相談(情報提供)	33
連絡調整	104	3,169	3,273	実態把握(サービス未利用者)	9

個別支援会議	0	5	5	実態把握（介護予防把握事業）	10
メール・文書	4	22	26	実態把握（安否確認）	55
その他	5	172	177	介護離職	0
合計	223	3,407	6,033	その他	40
				合計	5,551

地区・年代別集計

	40代		50代		60代		70代		80代		90代		100代		合計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
八田	1	38	0	19	74	39	308	309	273	505	14	163	0	0	1,743
白根	17	6	113	21	163	146	755	828	715	928	106	277	0	8	4,083
芦安	0	0	0	0	0	13	69	1	19	29	12	15	0	12	170
市外	0	0	7	16	0	9	0	0	0	1	0	0	0	0	33
市内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	18	44	120	56	237	207	1,132	1,138	1,008	1,465	132	456	0	20	6,033

② 包括的・継続的ケアマネジメント業務 介護支援専門員への相談支援

		ケアマネ支援（医療機関等への同行）	0
ケアマネ支援（相談・助言）	310	ケアマネ支援（担当者会議参加）	80
ケアマネ支援（サービス調整）	20	ケアマネ支援（会議開催支援）	21
ケアマネ支援（関係機関調整）	21	ケアマネ支援（その他）	13
ケアマネ支援（同行支援）	17	合計	482

新規介護予防プラン プランチェック実施件数 9件

2) 北部指定介護予防支援事業

ケアプラン作成件数（令和3年度）

第1号介護予防支援事業 直営 342件 委託 255件

指定介護予防支援事業 直営 326件 委託 354件

IV 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法による障害福祉サービス事業所として、関係機関と連携し、利用者がその人らしい自立した在宅生活が送れることを目的に、身体介護や家事支援、外出時の介護などのサービス提供を行いました。コロナ禍であっても利用者の日常生活に必要な支援が滞ることのないように、感染防止対策に努めながら事業を継続し経営を行うことが出来ました。

① 障害者総合支援事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

サービス提供日数	月間利用者数の合計(年)
365日	579人

内訳 居宅介護 484人
 重度訪問介護 12人
 同行援護 83人

② 障害者移動支援事業(委託事業) 利用者数は月間利用者数の合計(年)

ヘルパー支援型 利用者数	146名	年間	578回
車両型 利用者数(登録者19名)	119名	年間	337回

③ 養育支援訪問事業(委託事業)

利用件数	3名	派遣回数	39回
------	----	------	-----

④ 生活介護(基準該当障害福祉サービス)

*基準該当障害福祉サービス 延べ人数 504名

V 職員の質の向上(職員研修)

研修日	内容	講師	参加者
4月28日 5月21日	接遇向上	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	12名 18名
6月18日	JAF交通安全座学講習会	JAF山梨支部	20名
7月7日	決算分析報告	ラッセルズ株式会社	38名
11月11日、12日	メンタルヘルス研修	ウェルビーイング塚原	43名
3月22日	職員防災研修	呉市社会福祉協議会	40名

総務課

研修日	内容	主催者	参加者
令和3年8月1日 ~4年1月31日	社会福祉法人会計実務講座	中央福祉学院	2名
9月4日、5日	社会福祉士実習指導者講習会	山梨県社会福祉士会	2名
1月26日	給与大臣 年末調整セミナー	応研株式会社	2名
2月21日、22日	令和元年東日本台風復興フォーラムNAGANO	長野県社会福祉協議会	3名
2月28日	やまなし福祉救援活動推進員研修	山梨県社会福祉協議会	1名

3月7日	市区町村社会福祉協議会管理 職員研修	中央福祉学院	1名
------	-----------------------	--------	----

地域福祉課
社外研修

研修日	内 容	主催者	参加者
8月22日	「居場所」サミット in 神戸	認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター 神戸	1名
9月1～2日	生きがい・助け合いサミット in 神奈川	さわやか福祉財団	12名 オンライン
9月13日	地域福祉コーディネーター リーダー研修	全国社会福祉協議会	5名 オンライン
9月21日	調布市社協事例検討会	武蔵野大学	3名 オンライン
9月30日	地域福祉コーディネーター リーダー研修	全国社会福祉協議会	4名 オンライン
10月4日	笛吹市社会福祉協議会地域啓 発研修会(ヤングケアラー研 修会)	笛吹市社会福祉協議会	4名 オンライン
10月20日	令和3年度ひきこもり地域支 援者研修会	県立精神保健福祉センター	5名 オンライン
11月1日	2021年度さわやか福祉財団全 国交流フォーラム	さわやか福祉財団	1名
11月6日	児童虐待防止市民講座	市子育て支援課	4名
11月11日	地域定着支援センター研修	地域生活定着支援センター協議 会	2名 オンライン
11月22日	ひきこもり地域支援者研修会	県立精神保健福祉センター	5名 オンライン
1月16日	支えあいの地域づくり実感フ ォーラム	市介護福祉課	12名
2月10日	社協活動基盤強化研修(生活 福祉資金の特例貸付から見え た課題に向き合う)	山梨県社協	5名 オンライン
2月17日	社協活動実践研修会「地域の 多様な組織・団体との連携と 協働」	山梨県社協	3名 オンライン
3月9日	生活支援相談活動担当者全国 会議	全国社会福祉協議会	2名 オンライン
3月15日	令和3年度生活困窮者自立支 援・重層的支援体制整備事業 研修会	山梨県福祉保健部	6名 オンライン

社内研修

研 修 日	内 容
地域福祉推進係研修 (社協内他所属職員も参加)	5月 市の介護保険の現状 10月 ごみ処分場について 1月 伝え方について 3月 リモート会議の開催方法
ふくし相談支援センター内研修 (社協内他所属職員も参加)	4月 ひきこもり支援(きらめき久美ファーム) 5月 ひきこもり支援について 9月 CSW の役割について 2月 交互作用理論に基づく事例検討会

成年後見センター 外部研修

研修日	内 容	主催者	参加者
5月28日	権利擁護支援の中核となる相談 機関を立ち上げよう	日弁連(ライブ配信)	2名
6月23日	令和2年度成年後見制度利用促 進体制整備研修 伝達研修	権利擁護センター	1名
7月28日	ケース会議援助プログラムに関 する事例説明・研修	法テラス山梨(ライブ 配信)	2名
9月2日	生きがい助け合いサミット 市民後見による後見活動と生活支援 活動はどう連携するのが望ましいか	さわやか福祉財団(ラ イブ配信)	27名
9月27日	令和3年度日常生活自立支援事 業専門員実践力強化研修	全社協(ライブ配信)	1名
1月24日～25日	日常生活自立支援事業専門員実 践研修Ⅱ	全社協(ライブ配信)	1名
1月28日	後見業務の理解を深める	新日本法規出版(ライ ブ配信)	3名
2月4日	後見人等への意思決定支援研修	厚労省社会援護局地 域福祉課 成年後見 制度利用促進室	2名
2月26日	市民後見人・成年後見制度啓発	大阪府・大阪市・堺市 社協	3名
3月8日	福祉関係者が知っておきたい 「任意後見制度」	K-ねっと全国セミナ ー(ライブ配信)	2名

内部研修

研修日	内 容	参加人数
-----	-----	------

5月28日	医療保険、介護保険等自己負担軽減制度の確認等	22名
6月25日	日自に関わる各種制度について	21名
7月30日	認知症の理解と接し方、関わり方について	21名
9月24日	成年後見の実務	16名
12月24日	ライフプランを考えてみよう	24名
3月25日	対人援助について	23名

居宅支援課

研修名 (主催・項目)	内容 ()は受講人数	受講者数 合計
山梨県	・介護支援専門員更新研修(1)・主任介護支援専門員研修(1)・主任介護支援専門員更新研修(1)	3名
(県・峡中)介護支援専門員協会	・ハラスメント対策(2)・地域支部連携大会(4)・主任介護支援専門員フォローアップ研修(1)	7名
外部研修	・BCP対策セミナー(5)	5名
南アルプス市	・南アルプス市虐待防止権利擁護研修(4)	4名
課内研修 自主研修	・運営基準・特定事業所要件(5)・社協ケアマネジャーの倫理(6)・保健衛生学習会(感染症対策)2回(10)・ケアマネジメントプロセス・ファイリング(5)・災害時の備え、社協防災マニュアルと事業所BCPの見直し2回(11)・利用者家族によるハラスメント防止(5)・権利擁護(5)	47名
事例検討会	・事業所内7回(35)・他事業所合同2回(4)・市介護支援専門員連絡会2回(5)	44名

訪問介護課

研修名	内 容 ()内は参加人数	参加者数
山梨県	・HIV感染者エイズ患者の在宅医療介護実地研修(1)・難病疾患等ホームヘルパー養成研修(2)	3名
山梨県社協 全社協	・ホームヘルプの質を高める研修2回(2)・社協が経営する訪問介護事業所の経営(1)	3名
外部	・福祉有償運送運転者講習(1)・BCP(1)・事故対応セミナー(1)・同行援護一般研修(1)・同行援護応用研修(1)・事業所経営(1)	6名
南アルプス市	・権利擁護、中核機関(3)・虐待防止権利擁護研修(5)・障害事業所研修(1)	9名
事業所内研修	・サービス提供責任者学習会「運営基準、サービス提供責任者の役割」2回(12)・ヘルパー倫理と	185名

	マニュアル(31)・訪問介護記録(27)・感染症、食中毒(23)・安全運転講習(31)・特定事業所加算(6)・災害時のヘルパーの動きと伝言ダイアルの試行(32)・権利擁護(23)	
--	---	--

通所介護（ゆうかり・わかくさ）

研修名	内 容	参加者数
山梨県社会福祉協議会	福祉職場での感染症対策研修会・苦情対応研修	2名
山梨県福祉プラザ 研修介護職員テーマ別研修	認知症ケア・高齢者のためのアクティビティ 認知症高齢者の理解・高齢者と医療・介護現場におけるリスクマネジメント	5名
課内研修	トランスファー研修会	10名
南アルプス市	虐待防止・権利擁護研修会	6名
南アルプス市 ふくし勉強会	聴覚障害 聞こえないとは？	1名
山梨県老人福祉施設協議会	L I F E 普及啓発に向けて研修会	2名
山梨県	防災士養成研修(全4回)	1名
外部研修	処遇改善加算について	2名

通所介護（しゃきよんの家下町）

研修名	内 容	参加者数
山梨県社協研修	福祉職場での感染症対策 感染症基礎知識、コロナウイルス感染症対策	1名
県立介護実習普及センター	高齢者のためのフットケア	1名
県立介護実習普及センター	トランスファーの基礎知識	1名
南アルプス市	施設従事者等による虐待防止 I（管理者向け） 虐待防止・権利擁護（介護職員向け）	1名 1名
県立介護実習普及センター	理学療法士から学ぶ運動、体操、基本的な介助方法	1名
介護職場人材育成研修	作業療法士から学ぶ自立支援（生活支援、認知症の関わり方）	1名

北部地域包括支援センター

研修日	内 容	場 所	参加者
5月11日	地域福祉活動計画勉強会	デイサービスゆうかり	1名
5月20日	R3年度ひきこもり支援情報	本所（Zoom）	1名

	交換会		
6月19日	基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (Zoom)	3名
8月21日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (Zoom)	2名
9月14日 15日	R3年度認知症推進委員初任者研修	東京都港区 (Web型)	2名
9月18日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (Zoom)	1名
10月16日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (Zoom)	1名
10月20日	ひきこもり地域支援者研修	社協本所 (Zoom)	1名
10月21日	成年後見制度勉強会	若草生涯学習センター	2名
11月11日	ケアマネ部会事例検討会	地域防災交流センター	1名
11月12日	メンタルヘルス研修	南アルプス市社会福祉協議会本所	2名
11月20日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (ZOOM)	1名
11月22日	ひきこもり地域支援者研修	白根げんき館 (ZOOM)	2名
12月17日	オレンジチームコーディネーター	市役所	1名
12月17日	支えあいディスカッション	桃源文化会館	1名
12月18日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (ZOOM)	2名
12月21日	安全運転管理者研修	桃源文化会館	1名
1月15日	社会福祉士基礎研修Ⅱ	白根げんき館 (ZOOM)	1名
2月2日	管理者向け虐待防止権利擁護研修	ZOOM	1名
2月18日	弁護士会との高齢者虐待に関する研修会	ZOOM	1名
2月21日	市内相談支援従事者向け虐待防止権利擁護研修会	ZOOM	1名

VI その他

- ① 各種団体、各保健・福祉施設等との連携
社会福祉法人等との地域連絡会の開催
- ② 南アルプス市老人クラブ連合会及び各支所老人クラブ連合会
事務局
- ③ 山梨県共同募金会南アルプス市支会の運営
赤い羽根共同募金配分内訳 令和3年度社会福祉協議会が行う
配分事業

事業名	事業内容	配分額 (円)
地域社会福祉事業 (A4)	ふくしポスターの募集 学校でのふくし教育	500,000円

	ふくし勉強会	
	社会福祉大会事業	0 円
	地域福祉活動計画評価事業	399,000 円
あったかサービス事業 (A6)	ふれあいいいききサロン助成事業	1,000,000 円
地域における防災・減災のまちづくり事業(A7-2)	地域への防災・減災の啓発活動など	300,000 円
みんなで地域をよくする事業 (A7-4)	一次相談事業・ふくし小委員会・地域福祉活動団体助成	500,000 円
市町村社協地域福祉活動事業 (B1)	ボランティア情報誌発行 社協だより	2,500,000 円
小地域福祉活動事業 (B2)	ふれあい広場助成事業	590,000 円
地域福祉活動団体推進事業 (B3)	ボランティア団体育成事業	700,000 円
歳末たすけあい事業(C)	困窮者支援事業	100,000 円
計		6,589,000 円

④ 赤い羽根共同募金街頭募金活動

10月1日(木) 新型コロナウイルスの影響により、社協職員のみで、市内3か所【Aコープ白根店・Aコープ甲西店・綿半(八田)】において実施